

特許出願公告及特許拔萃

特許公告拔萃

輕金屬薄物鑄造方法 (12年特許公告第430號、公告12-2-8 名古屋市、久保田長太郎) 氣泡の害なき密實なる輕金屬薄物を低壓高壓交互に施すこと及自動的に破砕して鑄込むことにより簡易且安全に鑄造し然も特に金型を要せず土型と雖も鑄肌良き輕金屬薄物を鑄造し得る目的を以て、爐體內に裝設して加熱すべく成したる密閉せる坩堝内に輕金屬鑄造原料を收容し溶解し先づ低壓状態にて氣泡を吸引抽出し次に高壓状態に直ちに變化せしめて氣泡を壓搾抽出せしめ一定高壓に達するや自動的に栓用薄板を破壊して鑄型内に該熔融金屬を壓入することを特徴とする輕金屬薄物鑄造方法。

Al又は其合金の耐蝕性防水被膜生成法の改良 (12年特許公告第474號、公告12-2-10、川崎市、太田千代司) Al又は其合金に簡單容易に優秀なる耐蝕防水性を有し殊に鹽水に對しても卓越せる抵抗力を有する被膜を生成せしめんとする目的を以て、アルカリ合金又はアルカリ土金屬の硝酸鹽の水溶液中に漂白粉を添加したる、溶液中にAl又は其合金を浸漬して處理する事の特徴とするAl又は其合金の耐蝕性防水被膜生成方法。

耐火煉瓦製造法 (12年特許公告第475號、公告12-2-10、岡山市、加藤密) 従來廢棄せられたる三石産雜石を利用して有用なる耐火煉瓦を製造せんとする目的を以て、岡山縣三石産雜石と稱する石灰及苦土を殆ど含有せず珪酸及礬土を主成分とするものを一定の粒粉となし之れに岡山縣都窪郡妹尾産の石鹼土と稱する珪酸礬土を伴ひ過剰の酸化苦土を含有する土類若くは之れに類似する土類を少量混合して煉瓦以上を調製し煉瓦狀に成形窯燒することより成る耐火煉瓦製造法。

マグネシヤ煉瓦製造法 (12年特許公告第476號、公告12-2-10、川崎市、日本鋼管株式會社) 高溫爐内に於て挿入金屬鐵片は熔融酸化し煉瓦の内部に浸透しマグネシオフェライト ($MgO \cdot Fe_2O_3$) を生成しベリクレス、クリスタル (MgO) と共に強固なる一體となり熱の急變により龜裂剝落せず強鹽基性且耐火性に富み高熱時壓力に耐へ得べき優良マグネシヤ煉瓦を容易且廉價に得んとする目的を以て、マグネシヤクリンカーに任意の粘結劑を加へ煉瓦狀其他の形狀に成形せしむる場合に内部に板狀鐵又は線狀鐵等の如き金屬鐵片を挿入し高壓成形せしめたる後 $200^{\circ}C$ 内外に於て乾燥せしめ特に高溫燒成することなく所要目的に使用し得べくしたるマグネシヤ煉瓦製造法。

鑄造用中子製造装置 (12年特許公告第600號、公告12-2-19 名古屋市、久保田長太郎) 高壓空氣にて土粉を浮遊状態となして型内に均齊に誘導して如何に複雑なる鑄造用中子と雖も正確に均齊の硬度にて固結し優秀堅固なる中子を簡易なる作業にて迅速に形成し得る目的を以て、各型枠分割體に導入孔及細き排氣溝を設け該型枠分割體を重合して臺枠上に駕載し可動顎枠及固定顎枠にて挾持して緊締する様臺枠昇降脚に固着せるピストンを緩嵌せる氣管内に瓣に連通せる導管を連通せしめ可動顎枠の摺動脚に固着せるピストンを緩嵌せる氣管に瓣に連通せる導管を連通せしめ型枠分割體に設けたる導入孔の若干個の開口部に適合すべき導出孔を穿設せる底板を下端に着脱自由に取着けたる縦土容筒を型枠上端に壓着すべく成し縦土容筒の上端に接着すべき壓氣筒の底板部に若干個の通氣孔を穿設

し壓氣筒の上部に形成せる突筒部を袋形外筒内に上向きに突出せしめ突筒部の上端に壓閉する様護謨類製隔板を外筒内中部に周縁を固着して形成し外筒の隔板の上位に形成せる室内に瓣に連通せる導管を連通せしめ外筒内の隔板の下位に形成せる下室に高壓空氣導入管を連通せしめ瓣に高壓空氣導入管を連通し瓣内にて昇降すべき瓣體の上端を固着せる昇降枠の下端に足踏楨杆を固着し瓣體の下降により型枠を臺枠可動顎枠及固定顎枠により緊締し高壓空氣を土容筒を通して土粉と共に型枠内に導入し高壓空氣のみを逸出せしめ土粉を型内に固詰すべくしたる鑄造用中子製造装置。

複式引線機 (12年特許公告第640號、公告12-2-22、獨逸國、ワルテル、ナツケン) 引線すべき針金の損傷及纏絡を防止すへき機械の聯動關係を可及的に良好ならしむへき複式引線機を提供せんとする目的を以て、1個の引線筒を係合離脱する際に前位の全引線筒も亦係合又は離脱するも後位の引線筒は何等影響を受けざる如くなるものに於て驅動力を引線筒より引線筒に順次に導き此の際に1引線筒より他の引線筒を驅動力を傳達する各聯動機に1個クラッチを介入し斯くして驅動力を最初に最後に針金を捲き付くべき最も速かに回轉する引線筒に外部より導くを特徴とする各1個のクラッチを設けたる引線筒に對する共通の驅動部を有する複式引線機。

鏈鎖熔接装置 (12年特許公告第641號、公告12-2-22、東京市、最上つるの外1名) 鏈鎖の形狀に應じ火焰に對する熔接部の露出を正確充分ならしめ加熱範圍を可及的縮少し且加熱及鏈鎖の自重に基く、變形を防止し以て連續的自動的の熔接を遂行せんとする目的を以て任意の角度に傾斜自在に形成せる樋に其内の鏈鎖を間歇的に移送すべく形成せる往復爪を當合し酸素及アセチレンの混合瓦斯の如き可燃瓦斯の吹嘴を該瓦斯に依りて生ずる火焰が樋端に間歇的に吹付けらるゝ如く形成し冷却流體を火焰に接近し其下方に噴射すべく該流體の噴嘴を配備し樋端より懸垂する鏈鎖に係合すべく該流杆を裝備せる鏈鎖熔接装置。

酸化銅面上にカドミウム又は其の銅合金皮膜形成法 (12年特許公告第649號、公告12-2-22、東京市、加藤與五郎) カドミウム鹽の新規なる特殊電解作用にて緻密堅牢にして防蝕性ある皮膜を簡單に形成せしめんとする目的を以て、銅面に生成せしめたる酸化銅皮膜をカドミウム鹽含有溶液内に陰極となして電解を行ひカドミウムを電着せしめ又は酸化銅の還元を併せせしめカドミウムは其れの銅合金皮膜を形成せしむることを特徴とする酸化銅面上にカドミウム又は其れの銅合金皮膜形成法。

電弧熔接の際に於て眩惑を避くる装置 (12年特許公告第665號、公告12-2-22、獨逸國、アーノルト、グリコーン) 光線の透過少き保護眼鏡を用ひたる儘作業する如き不便を一掃すると共に眼鏡の掛け外しの手数を要すること無くして電弧熔接の際に於て眼に電弧の悪影響を與ふること無き装置を得んとする目的を以て、熔接者の眼前に隔板を設け該隔板は電弧の弧絡中定時的に交替して一度閉鎖し次に電弧の中斷中開放せらるゝことを特徴とする電弧熔接の際に於て眩惑を避くる装置。

鉛或は其他の金屬とアルカリ土類金屬との合金製造方法 (12年特許公告第685號、公告12-2-24、英國、カロイ、クミテツド) アルカリ土類金屬合金を經濟的に製出する目的を以てAlの浴

内にてアルカリ土類金屬の一種又は數種の化合物を還元することにより先づアルカリ土類金屬の Al 合金を調製し該合金を Al と容易に合金を形成せざる鉛又は Cd の如き金屬と混合し最後に之に依り形成せる二金屬を分離することより成る鉛又は Cd とアルカリ土類金屬との合金を製造する方法。

遠心力鑄造用鑄型の被覆材料 (12 年特許公告第 710 號、公告 12-2-26、亞米利加合衆國、オードマニユフアクチャリング、ユーポレーション、リミテッド) 比較的粗粒を過度の割合に有せず又微細粒を過度の割合に有せざる粉末珪素鐵の遠心力鑄造用鑄型の被覆材料を得んとする目的を以て、珪素鐵粒子の 5% より多からざる量は網目の孔径 0.1 耗の篩を通過するには大き過ぎ又該粒子の 10% 乃至 100% 量は網目の孔径 0.074mm の篩を通過するには大き過ぎる程度に細分或は磨碎せられたる遠心力鑄造用鑄型の被覆材料

電氣熔接装置 (12 年特許公告第 732 號、公告 12-2-26、熔接體に對し電極棒の位置を前後左右上下に自由に調節回動せしめ任意の位置に於て熔接を容易に行はんとする目的を以て、車臺上に回轉縱軸を以て樞支せる電動機を載置し該電動機に依りて聯動せらるゝ聯動機構は聯動中に自由に揺回して先端に挾着せる電極棒を出入又は回動せしむへくなしたる電氣熔接装置。

錨鎖の製作方法 (12 年特許公告第 756 號、公告 12-3-1、東京市、嶋 芳郎) 錐のみを用ひて之を斜に使用し特殊なる接合點を除き原材より遙かに長き錨鎖を容易に得んとする目的を以て、斷面十字形を成せる原材の突出部の中鎖の垂直リング同志及水平リング同志の外側を夫々相接する如く垂直リングの外側の相接する點が水平リングの中心位置となるやう相互に構成し鎖として不用なる各鎖の外周接合部並に各鎖の内部の部分を錐を以て孔を穿ちて取り去り次に相隣れる錨鎖の接合點即ち十字狀の中央部なる接合點を斜に錐入をれて切斷して錨鎖を製作することを特徴とする錨鎖の製作方法。

珪瑯燒成方法 (12 年特許公告第 758 號、公告 12-3-1、大阪市大島峰次郎) 從來珪瑯燒成常法として先ず器物に釉藥を塗抹し然る後之を爐室内に燒成する方法に於て斯る大型器物を燒成することの作業の困難及び之に基因する所の必然的製品不完成等の缺陷を本發明に依りて全く芟除し珪瑯面に氣泡或は形態歪曲等もなき完全なる製品を得る目的を以て、掩蓋を有する爐室内に鑄鐵又は軟鋼板或は合金等を以て作りたる大型器物を移入し爐室の上縁に設置されたる適宜形状の遮蔽支持板を以て爐室内の火氣火焰を外部に漏出せしめざる装置を作り被燒物が適度に加熱されたる時在爐現状の儘乾燥細末釉藥又は水分僅少なるスリップを熱風式又は普通空氣噴射器を以て噴射或は篩掛熔着燒成なすことを特徴とする珪瑯の燒成方法。

酸化鐵礦石及他の鐵含有物質を鐵に連續的に加工する方法 (12 年特許公告第 786 號、公告 12-3-3、獨逸國、フリードリッヒ、ラルツ、ゲルソンウエルク、アクチエンゲゼルシャフト) 酸化鐵礦石及他の鐵含有物質より極めて有利經濟的に鐵を製造せんとする目的を以て、回轉管爐に鐵礦石還元劑を装入し之を 600°C ~ 900°C なる溫度に於て海綿狀に還元し、然る後酸素 (空氣或は酸化作用を及ぼし得べき瓦斯) を還元せられたる鐵部分と直接に接觸せしめ此の鐵の一部を燃燒 (酸化) せしめて約 $1,400^{\circ}\text{C}$ 迄の溫度となし以て非燃燒鐵部分より分離し易き半液狀鐵滓を形成せしむると共に非燃燒鐵部分を熔接合體せしめて鍊鐵塊を形成せしめ且つ鐵滓中

に移行せる酸化鐵を装入體內に於て装入體中に存在す還元物質に依り再び還元する事の特徴とする廻轉管爐中に於て還元物質の添加の下に於て酸化鐵礦石或は他の鐵含有物質を鍊鐵塊に連續的に加工する方法。

過熱溫度調整装置 (12 年特許公告第 807 號、公告 12-3-5、東京市、株式會社日立製作所) 過熱管の損傷を防止し且均質なる所要溫度の過熱蒸氣を得べき過熱溫度調整装置を得んとする目的を以て直列に接續せられたる複數の過熱管の接續部に冷却用水管を配設せる過熱溫度調整装置。

熱瓦斯を使用する除煤方法 (12 年特許公告第 808 號、公告 12-3-5、大阪市、汽車製造株式會社) 溫度高く且濕潤性及助燃性少き作動氣體を加熱面に噴出せしむることにより爐内溫度の急變に基く障害なからしめ而も廢熱瓦斯利用の汽罐の如く爐内に助燃性の氣體を混入せしむることを危険とする場合に於ても安全且有効に除煤作業を遂行し得せしめんとする目的を以て、氣體を壓縮し之を汽罐其他の加熱面に噴出せしめて該加熱面に於ける煤塵を吹掃する除煤装置に於て火爐より抽出したる熱瓦斯を壓搾して之を作動氣體の全部又は一部に使用することを特徴とする除煤方法。

銃彈貫通防止装置施設の鐵兜 (12 年特許公告第 812 號、公告 12-3-5、大阪市、阿部庄治) 銃彈の衝突に際し其の金屬板の牆壁狀に因り其の彈丸の先端を挾擁把握し或は銃彈衝突の場面に依りては該帶版の重層を以て且つ前記の充填物の作用を以て銃彈の貫通を完全に抑止せしむる目的を以て、鐵兜の帽體上に金屬帶版を渦巻狀又は重圍狀等の様態を以て圍繞し帽體に沿從して直立固着せしめ且つ其の中部又は上部に金屬桿を貫通又は適當なる工作に依る纏絡を以て其の佇立を保持せしめ該金屬版なる牆壁間には護謨並帶鐵を填充してなる銃彈貫通防止装置施設の鐵兜。

鐵兜 (12 年特許公告第 813 號、公告 12-3-5、東京市、小林定幸) 輕量にして大量的製産に適するのみならず彈丸の貫通を確實に防止し得るものを得んとする目的を以て、多數の輪狀鋼鐵薄板を鍍裝式に重ね合せに連繫して圓形帽體を形成せしめ其の上端の鋼鐵薄板の開口せる上下部には夫々鋼鐵薄板を添着し更に下端の鋼鐵薄板に二重の鋼鐵薄板より成る鍍片連繫して該連繫部を三重となし之を燒入れせる後適當に燒戻し全體に適當の鍍金を施して構成せしめたるを特徴とする鐵兜。

開放容器の製造方法に關する改良 (12 年特許公告第 826 號、公告 12-3-5、埃國、ステャー、ダイムラー、プツヒ、エーゲー) 材料に折目又は裂目等を生ぜしむること無く浴槽等の如き大容量の容器を均等に常溫延製し得せしむる方法を得んとする目的を以て、種々異なる寸法の棒孔を備ふる數多の延製用型板に單一の雄型を順次に協働せしめて段階的に金屬板を延製し最初に最小なる棒孔を備ふる型板を又最後には幅及長さが最終成品の内側横斷面に對應する最大棒孔を備ふる型板を延製用雄型に組合す如くし先づ仕上形體の低部に略對應する淺き豫備形體を素材より作成し次に未だ歪曲ざる金製板を數次の段階又は動作を以て段々に大となる部分に進む如く延製して前記豫備形體上に容器の壁を作り上げ加工さるゝ素材の孔を次第に廣くし遂に仕上げたる粗製中空形體の全開孔に達する如くし形成さるる部分の孔を廣さの増加をして成るべくは各延製段階毎に其の高さの増加に對し一定の比を保たしむる如くなしたることを特徴とする例へば洋式浴槽等の如き一側の開放せる容器特に傾斜せる側壁を有する容器を單一金屬板より常溫延製する方法。

鋼線伸線装置 (12年特許公告第827號、公告12-3-5、大阪市、關西製鋼株式會社) 簡單なる装置に依りダイス孔の中心軸線方向をしてダイス保持装置の回動中心點と巻取圓筒の巻取切點とを結ぶ線と一致せしむることに依り伸張鋼線に波狀屈曲を生ずる憂なからしむると共にダイスの命數を増大せしめんとする目的を以て機臺上の定位置に中央部に鋼線を貫通せしめ且任意方向に回動し得る如くしたるダイス保持装置を設け巻取圓筒を該保持装置に對しダイスと反對側に位置せしめダイスをして保持装置の一部を構成せる支持板上に於て適宜の装置により上下及左右何れの方向にも其位置を調節保持し得べく設置し保持装置を構成せる枠體の前端部鋸部の周緣位置に適宜個數の調節螺子を貫通螺嵌し之等の螺子の先端が機臺の前壁面に接觸又は近接せしめ該螺子の調節によりダイス孔の中心軸線方向を伸線方向と完全に一致せしめ得る如くしたることを特徴とする鋼線伸線装置。

酸化マグネシウムより金屬マグネシウムを製造する方法 (12年特許公告第830號、公告12-3-5、朝鮮、日本マグネシウム金屬株式會社) 最も有効にして且經濟的に MgO より金屬 Mg を製造せんとする目的を以て、蒸汽狀及瓦斯狀反應生成物をして該生成物が還元室より流室する迄 $MgO + C \rightleftharpoons Mg + CO$ なる反應の平衡が實際に反應式の左より右に進行し斯して CO に依る金屬 Mg の再酸化が阻止せらるるが如き高温度に維持し次に高熱反應室より流出する反應生成物が特に爐を出でんとする際に Mg に對し不活性なる著量の冷狀瓦斯を添加し以て金屬 Mg 及適當に稀釋せる CO が共存するも安定なる温度 $450^{\circ}C$ 又は其れ以下の温度に迄急激に冷却し斯くして Mg 蒸汽の再酸化を受くる虞ある温度範圍を急速に通過せしむる事を特徴とする炭素質物質により還元及 Mg の蒸發作用に依り MgO 化合物より金屬 Mg を生成する方法。

二酸化チタニウムの製造法 (12年特許公告第854號、公告12-3-8、亞米利加合衆國、アメリカン、ジック、レッド、エンド、スメルティング、コムパニー) 粒子細くして質質的に不純物を含まざる結晶狀の二酸化チタニウムを製造する目的を以て、例へばカゼイン及其他の膠類、カゼイン及アルブミンの誘導體及沈澱する物質の粒子の大きさに多少影響する性質を有する總てのポリサツカリド等の如き保護膠質を存在せしめて水化し得るチタニウム鹽の溶液を水で以て稀釋し然る後該溶液を加熱して加水分解を完成せしめ且つ膠質を一層溶解し易く且除去し得べき状態に變ずる事より成る二酸化チタニウムの製造法。

輕金屬に Al , Mg 及夫等の合金類の處理法 (12年特許公告第856號、公告12-3-8、佛蘭西國、コムパニ・ジェネラル・デレクトロメタリユルジ) 最も有効且經濟的方法に依り輕金屬特に Al , Mg 及其合金を處理し其特性を簡易に改良せんとする目的を以て、特に熔融金屬物質より瓦斯を除去する爲に酸化處理の後に熔融金屬物質中に少量の還元性物質が尙殘存する如く熔融金屬物質の温度の下にて少くとも一部蒸發する還元性物質の一定量の存在の下に於てのみ酸化處理を行ふことを特徴とする酸化劑に依り輕金屬類特に Al , Mg 及夫等の合金を處理する方法。

保温耐火煉瓦の製造法 (12年特許公告第857號、公告12-3-8、京都市、深見芳雄) $1,400^{\circ}C$ 前後の高温度にても長時間の使用に耐へ輕量にして且保温力良好なる保温耐火煉瓦を製造せんとする目的を以て、珪石粉末を主成分とし之に少量の粘土と油土適量の木屑及ガラスの粉末或は之に類するアルカリ融劑の少量を添加して良く混和し成型したる後 $SK 8$ 乃至 $SK 12$ の温度にて燒成すること

を特徴とする保温耐火煉瓦の製造法。

電氣爐 (12年特許公告第875號、公告12-3-8、東京市、株式會社三菱電機商會) 此種電氣爐に於ける熔融材料の所謂上方裝填のための電極及其の附屬部分並に爐蓋の取除き機構が簡單且操作容易にして尙作業場の床面積及空間を經濟的に使用し得べき電氣爐を得る目的を以て、爐體は定置誘導體に依り誘導せしめて傾動せしめ熔融物を傾動せしめ得べく設け前記定置誘導體と均等又は相似なる定置誘導體に依り誘導せしめて傾動し得べく設けたる枠體に電極棒及其の調整装置並に爐蓋の上下及支持装置を具備せしめ該枠體を傾動装置に依り傾動せしむべくし前記爐體と枠體とは隨時一體に連結せしめ及其の連結を解體せしめ得べくせることを特徴とする電氣爐。

炭化物質電氣抵抗體の製造方法 (12年特許公告第903號、公告12-3-10、東京市、正木康作、他一名) 抵抗甚だ高く容易に熔融せず特に電熱器用抵抗として好適なる抵抗體を得んとする目的を以て B, Cr, Mn, Mo, Si, W, V の炭化物に炭素を加へ適當の結合劑を以て成形し之を非酸化性雰囲気内に於て $2,000^{\circ}C$ 以上に加熱することを特徴とする炭化物質電氣抵抗體の製造方法。

Al 又は其の合金の表面硬化法 (12年特許公告第965號、公告12-3-15、東京市、古河電氣工業株式會社) Al 及其の合金に對して特に硬度高き皮膜を一様に緻密に被着し以て其の表面硬度を著しく大ならしめんとする目的を以て、蓆酸又は其の鹽と明礬との混合溶液に依て電解することを特徴とする Al 又は其の合金の表面硬化法。

工作機械用具の鋼幹材に高速度鋼刃材を電氣熔接する方法 (12年特許公告第1015號、公告12-3-17、大阪市、電氣熔接工業株式會社) 高速度鋼刃材を完全に熔接せしめ刃材が幹材より決して離脱せざる工作機械用具を提供せんとする目的を以て、工具の幹の先端部を構成すべき鋼材片上に高速度鋼刃材を重合し接觸電氣抵抗熔接法により熔接工程と斯くて熔接せられたる先端片を鋼幹材主部に銜合し同種の方法に依り熔接する工程とを結合して成る工作機械用具の鋼幹材に高速度鋼刃材を電氣熔接する方法。

弧形を有する鑄造原版の製作法 (12年特許公告第1024號、公告12-3-19 堤義藏) 弧形を有する鑄造原版に於て地金を損傷することなく弧形を正確に保持せしめ又其の厚みに異なるからしめ且鑄物肌を滑かにし之を模様、文字又は形狀を正確、鮮明、美麗に顯出せしめんとする目的を以て、磨砂を乾燥し數度に互りて順次篩別して極めて微細ならしめたるものに混雜物を去りたる布海苔を混しよく之を攪拌し一定の弧形に彎曲したる型に入れて強壓を加へ以て堅く固め再び乾燥して弧形砂型を作り之に模様、文字又は形狀を刻彫し其の弧形面に之と同質にして同心弧を有し且厚みを均一ならしめたる砂板を具はりたるものを表型とし之に應じて同心弧を有する裏型を合せて鑄型となし之に熔融金屬を流入し以て完全なる弧形鑄造原版を製作する方法。

Al 及 Mg 合金の直接電解製造法 (12年特許公告第1032號、公告12-3-19、堺市、鉛市太郎、外二名) Al と Mg との合金を電解に依り直接製造し以て電解能率を増加せしめ且經濟的に操作を行はしむる目的を以て、電解用熔融鹽として無水 $AlCl_3$ 及無水 $MgCl_2$ の混合物に更に $AlCl_3$ の安定化の爲めに $CaCl_2$ 及 $NaCl$ 又は KCl を加へたる熔融化合物を使用し電解に依りて陰極上に Al 及 Mg の合金を直接析出せしむることを特徴とする Al , Mg 合金の製造法。

Ti 鋼製造法 (12年特許公告第1033號、公告12-3-19、公告12-3-19、獨逸國、ワルトヘル、マセシウス) 容易に Ti の所要量を

鋼中に移行せしめ而も材質緻密にして優秀なる特性を具備せるTi鋼を容易に工業的經濟的に製出し得しむる目的を以て、鋼浴を TiO_2 及 CaO を 20 對 30 の割合に含有する珪酸を含有することなき鑛滓に依りて被覆し該鑛滓より Ti 酸の還元によりて Ti を生ぜしめ其の鋼浴中に於ける量を浴中の N_2 S 及 O_2 と結合せる後尙少く共炭素の全部と TiC なる式に従て結合し得べき程度たらしむることを特徴とし鋼浴を Ti 鐵鑛及石灰を含有する鑛滓にて處理することより成る Ti 鋼製造法。

Bi, Sb, As 等の共存せる合金粉末又は地金より Bi の回收及製精法 (12 年特許公告第 1035 號、公告 12-3-19、東京市、三菱鑛業株式会社) 全然濕式法により前記の合金粉末又は地金より極めて高實收率を以て有利に Bi を分別回収して優良の製品を得る目的を以て Bi, Sb, As, Pb 等共存せる合金粉末又は地金を極めて底温にて溶解して陽極とし周知の方法により電解し生成するスライムを濃鹽酸に溶解し其の溶液に微量の酸性弗化アルカリ又は酸性弗化物を添加し後水を以て稀釋するを特徴とせる蒼鉛回收及製精法。

電氣熔接機 (12 年特許公告第 1049 號、公告 12-3-19、東京市株式会社芝浦製作所) 熔融電流の流通を自動的に然も適切に制御せしむることにより熔接作業を簡易ならしめ良好なる熔接作業を遂行し得せしめんとする目的を以て、押壓可動電極は壓力流體による唧子装置によりて制御せらるべくし而も該唧子装置内の壓力の變化に應じて作動する電路開閉装置を設け該開閉装置に依りて熔接電流の制御回路を開閉制御せしむべくせることを特徴とする電氣熔接機。

電氣爐電極自動調節裝置 (12 年特許公告第 1050 號、公告 12-3-19、東京市、株式會社芝浦製作所) 簡單なる配置により安全且確實に而も從來の平衡繼電器の過調整に基く電極昇降動のハンチングを起す事なく電氣爐電流を略正確に豫定値に保持し得る電氣爐電極自動調節裝置を得る目的を以て、電氣爐電流に應動する粗調整用電流繼電器と精密調整用電流繼電器とを設け該電流繼電器を通してブリツヂ抵抗を調節して電氣爐電極を昇降するワードレオナード系の發電機界磁を勵磁すべく接續し前記電流繼電器に依り前記發電機界磁の勵磁度及極性を夫々粗密に調節し又は逆變すべくせる事の特徴とする電氣爐電極自動調節裝置。

鐵心の磁性特性の改善方法 (12 年特許公告第 1067 號、公告 12-3-22、獨逸國、アルゲマイネ、エレクトリチテーツ、ゲゼルシャフト) ヒステレシス、初期導磁率 h_0 値等を所期の目的に應じ可及的好都合ならしめ得る方法を得んとする目的を以て、鐵心材料が最後の冷加工前赤熱せられたる後 $h_0 = \frac{h}{\sqrt{\mu_0}}$ の値を極力小ならしむる爲め添加金屬例へば Cu の含有量に従て徐々に又は急速に冷却せられ此の冷却速度として限界濃度の少く上方にありて實驗にて決定したる限度の下方法に於ては徐々に冷却するも此の限度の上方に於ては第三金屬の含有量の増大するに従て迅速に冷却し例へば Ni に對する Fe の Cl が 60~64 對 40~36 なる $Fe-Ni-Cu$ 合金に於ては熱處理として Cu の含有量が 9% 以上なる場合は 200°C 以上の温度よりの中庸の迅速度にて冷却するか又は此の温度より急冷し次に 350°C 及 650°C 間の温度に於て燒鈍し Cu の含有量が 9% 以下なる場合には 700°C 以上の温度より徐々に冷却(爐内に於て行ふを可とす) することを特徴とする原特許第 98963 號記載の鐵心材料の磁性の改善方法。

中空鋼塊鑄造裝置 (12 年特許公告第 1093 號、公告 12-3-24、

尼崎市、山田貞雄) 良質たる中空鋼塊を經濟的に連續鑄造せんとする目的を以て、内徑均一なる載頭圓錐筒狀をなす鑄鋼製中子を垂直に定盤上に固着し該中子を適宜の間隔を保ちて圍むべく鑄鐵製の上方に至るに従ひ纜かに大ならしめたる傾斜内徑を有する適宜形のケイスを定盤上中子の周圍に安定し中子の下部周圍定盤上に適宜の湯口を設け豫め稍粗ならしめたる中子の全表面に一樣に薄く糖密にて混和したる黒鉛を塗布し中空部を下より上に冷風を送入放散せしめつゝ熔鋼を注入すべくしたる中空鋼塊鑄造裝置。

電弧熔接棒 (12 年特許公告第 1155 號、公告 12-3-26、東京市株式会社芝浦製作所) 運搬並に使用中の取扱に際し毫も被覆の剝離する如き虞なからしむると共に熔接部に於ける巢の發生を阻止し且熔接時の精練作用を旺盛となし熔接金屬部の改善効果を顯著ならしめ以て熔接加工部の機械的化學的及電氣的性質の劣化することを防止し熔接作業を極めて容易且確實に施し得べき熔接棒を供せんとする目的を以て、電弧熔接精練劑の一種若くは二種以上を硝子粉と共に混和融合して得たる燒成物を主體とせる被覆劑を使用することを特徴とする電弧熔接棒。

Cu を含有せざる Ni 鑛より Ni 電解液製造法 (12 年特許公告第 1234 號、公告 12-4-2、東京市、正木康作、他一名) Cu を含有せざる Ni 鑛石より容易且經濟的に純度高き Ni 電解液を得んとする目的に於て Cu を含有せざる Ni 鑛石を粉碎し硫酸にて抽出する工程と不溶性残渣と金屬硫酸鹽とを分離せる後 $CaCO_3$ を加へ空氣を送入せしむる工程と沈澱物と硫酸鹽溶液と分離せる後石灰水にて處理する工程と沈澱として得たる Ni を更に硫酸にて處理し Ni 電解液を得更に電解に際し此の硫酸 Ni 溶液を陰極隔膜中に送入し陽極室より流出せしめ硫酸の濃厚となりたる電解液を以て前述せる Ni 沈澱物を抽出に反覆使用し Ni 電解液を得る工程との順序結合を特徴とする Cu を含有せざる Ni 鑛石より Ni 電解液の製造法。

二重覆縁を有する鋼管接合部製造法 (12 年特許公告第 1140 號、公告 12-3-26、川崎市、日本鋼管株式会社) 簡易の裝置と手段とに依り極めて容易に二重覆縁を有する輕量にして強靱なる鋼管を得んとする目的を以て、管端部を加熱状態に於て第一雌形を以て押之に第一雄形を挿入して外方に V 形に彎曲せしめ次に第二雌形を當て第二雄形を挿入して該管端部を擴大して二重覆縁をなす如く成形せしめ次に口徑部を絞ることより成る二重覆縁を有する鋼管接合部製造法。

特許抜萃

特許番号	名稱	特許權者	公告抜萃掲載本誌番號
118810	アルミニウム合金	松永陽之助	第22年8號
118867	石炭の自然發火防止方法	樺太炭素株式会社	なし
118896	煉炭製造法	品川燃料株式会社	なし
118955	天然硫黄を含有する鑛石の浮游選鑛にタンニンを使用する浮游選鑛方法	岩谷東七郎	第22年11號
119171	煉炭製造方法	平賀助一	なし
119249	安定性エテル燃料製造法	愛知時計電機株式会社	なし
119372	高硬度合金	株式会社住友電線製造所	第23年11號
119403	石炭乾餾法	南滿洲鐵道株式会社	なし